

歴史を学び、考察し、発信する。

利府「なこそその関」研究会



活動目的

「なこそその関」及びそれに関連する歴史事項の探求及び研究を深めるとともに、その成果を町内外に広く伝えることで、地域資源としての価値を高め、町の発展と文化の向上に資するものとするため。

活動内容

現在は、『なこそその関』の考察を書いたHPの更新。
今後は、3か月に1回程度の勉強会などを実施予定。

利府「なこそその関」研究会

- ホーム
- 1. はじめに
- 2. 「なこそその関」とは
- 3. 「勿来」の文字
- 4. 「勿来」という地名
- 5. 「なこそその関」を採んだ歌
- 6. 古代東部の三冊
- 7. 古代東部の伝説
- 8. 戦国のこと
- 9. 戦国の地と移民
- 10. 伊弉公孫麻呂の反乱
- 11. 反乱の理由と聖域

利府「なこそその関」研究会

「なこそその関」の謎を解く

～利府「なこそその関」研究会が発表～

利府「なこそその関」研究会
代表 菅澤伸一

このたび、古代「なこそその関」を研究するグループ「利府「なこそその関」研究会」を設立しました。

「なこそその関」の所在地については単台電線がありませんが、地名や歴史、当時の時代状況などから推定してみると、利府にあったのではないかと考えられます。本サイトでは「なこそその関」に関する一連の研究結果を改善する予定です。また、より多くの方に「なこそその関」を知っていただき、歴史を継承し、歴史として社会に認められ、町の発展に寄与できればと願います。

メッセージ

勿来関と言えは、福島県いわき市にあるものだと考えている人が多いでしょう。いわき説はどこか定説とされている感がありますが、実際のところはよく分かっていないのです。

かたや、利府町には「名古屋」「惣の関」という二つの地名が非常に近接した場所にあり、大郷町板谷へとつづく古道の入口となっています。

当該地域は、ヤマトとエミシの地の境界であり、関を置く正当な理由があるため、利府町にあったとしてもおかしくないのです。

まだ、分からないことがたくさんありますが、私たちはこの『なこそその関』について真摯に学び、考察を深め、広く町内外に発信することで、町の文化や歴史の発展に貢献したいと思っています。

現在、本格的な活動ができていないため、一緒に活動を推進していける若い力や、歴史について学びたい方を募集しています。

団体概要

団体名	(フリガナ) リフナコソノセキケンキュウカイ		
	利府「なこそその関」研究会		
お問い合わせ先	電話番号	—	
	メールアドレス	rifunakoso@gmail.com	
	HP (URL)	https://www.rifunakosonoseki.com/	
	その他のお問い合わせ方法	—	
入会	会員募集	○有 ・ 無	
	入会費	無し	年会費 500円
	入会方法	メールにてご連絡ください	
活動情報	主な活用場所	現在は月に一度HPを更新しており、主な活動場所はありません。 今後は利府町役場の交流スペースを想定していますが、未定です。	
	活動頻度	3か月に一度	
	活動時間帯	未定	
	構成人数	11名	
活動内容	HPの更新 勉強会などの開催 研究文集の発行 その他、会の目的に合致するもの		